

心のふるさとと市民事業

自治体情報 長崎県五島市

人口 / 41,989人 標準財政規模 / 18,831百万円

担当課 豊かな島づくり市長公室
 電話番号 直通 0959-72-6127
 実施主体 五島市
 関連ホームページ <http://www.city.goto.nagasaki.jp/>

事業期間 平成19年度から

関係施策分類 ①

予算関連データ

総事業費：8,326千円

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	6,146
年会費	-	2,180

施策のポイント

全国、海外において「心のふるさとと市民」の登録者数は約16,800人（H23.12月末現在）となっており、登録者一人ひとりに五島市の情報の受け手、サポーター（五島市のPR等）としての役割を担っていただいている。これにより、五島製品の販売促進や来島等による交流人口の拡大など島の発展が図られている。

1 取組に至る背景・目的

長崎県五島市以外に在住している五島出身の方々や五島のファンの方々に「心のふるさとと市民」として登録していただき、五島市からは五島の様々な情報発信を行う一方、登録いただいた方々には、「情報の受け手及び周辺への五島市の情報発信者となり、地元市民と協働して五島市を魅力あるものとしていく」ことに協力いただいている。このことにより、人・モノ・情報の交流を活性化させ、五島をより元気で活力のある島にしていくことを目的とする事業である。



岐宿町の畦道

2 取組の具体的内容

(1) コース

- ①メル友コース メール配信による情報提供（年会費：無料）

②心の友コース 封書による情報提供

（年会費：1,000円（送料相当））

（※①及び②の加入者全員に「ふるさと市民カード」を発行）

(2) 提供する情報の内容

- ①島内の各地域の伝統行事、イベント
- ②島外のイベントや物産展
- ③特典提供協力店の店舗紹介、特典内容（「ふるさと市民カード」を提示すると、来島時に特典提供協力店において割引・サービス等の様々な特典を受けることが可能となる。）
- ④五島が取り上げられたテレビ、情報誌などマスメディアの事前周知 等

(3) その他

- ①関係課、関連業者との連携によるイベント時の会員限定サービスの提供
- ②五島市民と会員との交流イベントの開催

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

「心のふるさとと市民」の果たす役割として、「情報の受け手及び周辺への五島市の情報発信者となり、地元市民と協働して五島市を魅力あるものとしていく」ことを期待し、H27年度における定住人口（平成23年3月末現在約4万2千人）と「心のふるさとと市民」を合わせて10万人とすることを将来目標に掲げている。

4 現在までの実績・成果

H23.12月末現在

- (1) 登録者数 16,785人
- (2) 特典提供協力店数 62店舗
(交通7、宿泊施設9、物販店8、飲食店29、娯楽7、その他2)



ふるさと市民カード 表

本証は表記人本人が特典の提供を受ける際に提示してください。

このカードをなくしたとき、住所、氏名が変わったときは、すぐにお知らせください。

発行：バーチャル五島市

事務局 長崎県五島市福江町1番1号

五島市役所内

豊かな島づくり市長公室

0959-72-6127

(平日 8:30～17:15)

ふるさと市民カード 裏



東京・池袋のイベントにて、心のふるさと市民がボランティアスタッフとして参加。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

- (1) 登録対象者のニーズ把握
⇒事業開始にあたり事前アンケートを実施
- ①調査対象：市内イベント参加の来島者、全国各地の郷土人会会員、市職員、市

HP閲覧者等 (H18.9月実施)

- ②調査内容：市外在住者が求める情報、来島意欲を高めるために五島市が改善すべき点等

- (2) 地元市民への事業周知

⇒市の広報媒体利用、戸別訪問、町内会への説明会を実施。並行して会員募集の協力を行った。

- (3) 迅速で幅広い情報収集

⇒関係課、関連業者との連携関係者が集まる場での事業説明と協力依頼を行った。

6 今後の課題と展開

登録いただいた方々にさらに一層五島のアピールを行っていただくためにも、市としてより魅力的な情報発信を行うなどの工夫が必要である。

また、来島経験のない登録者の方々にも1度は五島市に足を踏み入れていただくような仕掛けをつくる必要がある。



古くから伝わる民俗行事崎山のヘトマト



前島のトンボロ